

< 全国一般第1次回答 >

東京、福井、三重、大阪、兵庫、山口地本 14分会で有額回答を引き出す！！

賃金引き上げは切実な要求、統一闘争で回答引き出しを！

自動車、電機、私鉄など主要大手の集中回答が3月14～15日に行われた。大手の賃金改善は500～1000円の回答であったが、回答の特徴は賃金カーブ維持分(定昇)を確保した上で賃金引き上げを中心とした回答であること、「賃金改善」の内容は子育て支援や社員研修制度の充実など手当も含まれていること、同じ産業でも業績による格差が広がったこと、業績反映は一時金で対応する経営側の姿勢が反映していることもあり、企業の支払能力論を前面に出しての月例賃金の引き上げを抑制する経営側の姿勢が顕著であった。

全国一般の回答は3月19日現在、6地本14分会で有額回答を引き出し、昨年実績を854円上回った。

これから本格化する中小の交渉では、大手の回答を反映し賃上げ抑制の攻撃が強まることは明らかである。しかし、組合員のアンケート調査でも「生活が苦しくなった」と多くの組合員が訴えているなかで、すべての職場が昨年実績を上回る賃金引き上げの獲得をめざして、各地方本部は闘争体制を強化しよう。